

# 水野谷武志ゼミ I・II

MIZUNOYA Takeshi Seminar I・II

参加学生数 21 人



水野谷 武志

地域経済学科  
教授

## TPP が十勝地域に与える影響について考える

研修地：帯広市

### 研修目的

TPP（環太平洋連携協定）は物やサービスにおける貿易の自由化促進だけでなく、様々な分野の国際的なルールづくりを視野に入れているので、大きな注目を集めている。本研修の目的は、農業が特に盛んな十勝地域を訪れ、日本のTPP参加が地域に与える影響を具体的に考えることである。

### 研修地・日程

- 9月5日 広瀬牧場で酪農教育ファーム「十勝農業学校」プログラムを体験し、酪農やTPPについて意見交換する  
宿泊先（十勝幕別温泉）にて、明日の準備・打ち合わせ
- 9月6日 とちか農機具歴史館の見学  
ビート資料館の見学  
十勝総合振興局を訪れ、農政課担当者からTPPに関して講演していただき、意見交換する  
帯広信金中央支店を訪れ、日本銀行帯広事務所担当者からTPPに関して講演していただき、意見交換する
- 9月7日 帯広百年記念館の見学

### 写真キャプション

- ① 広瀬牧場での学習会。② 広瀬牧場で搾乳体験。③ とちか農機具歴史館。④ 十勝総合振興局での講演。⑤ 宿での勉強会。



### 総括

十勝地域の歴史や文化の一端を学ぶために、とちか農機具歴史館、ビート資料館、帯広百年記念館を訪れた。現在の十勝地域が農業とともに発展してきたことを改めて認識することになった。

十勝総合振興局の担当者からは、農業関係者としての考えを聞き、意見交換することができた。日本がTPPに参加すると食料品の多くが安価な外国産に置き換わると予想されるので、食料自由率が下がるのはもちろんのこと、国内の農業生産が減るので、農業とその関連産業で成り立っている十勝地域は大きなダメージを受けることがわかった。

日本銀行帯広事務所担当者からは、農業をふくめた十勝経済の視点による考えを聞くことができた。農業とともに、農作物を加工したり販売したりする産業の育成強化が十勝経済の課題であるとわかった。十勝地域にとってこれは、TPP論議にかかわらず、重要な課題である。

本研修では主に農業の視点から日本のTPP参加について十勝という地域を取り上げて考えた。しかし、他の産業や地域からの視点と比較することが本研修に残された大きな課題である。

### 学生研修記

#### 地域研修を終えて

今回、水野谷ゼミナールでは、帯広市を訪れ、十勝総合振興局などの他に、帯広百年記念館、広瀬牧場へ行った。帯広百年記念館では、開拓期の十勝、十勝農業の歴史について学んだ。帯広出身者である私でも知らない事が多く、非常にためになった。広瀬牧場では、酪農、十勝・北海道の農業についての講義を受け、農業の重要性を改めて実感した。また、乳搾り、アイスクリーム作りなども行い、普段はできない貴重な体験をした。

TPPを調べる上で、農業についての理解は不可欠である。今回の研修では、実際に帯広市に行くことでしか学べないことが沢山あり、農業についての理解が深まった。その点、今回の研修は大変有意義なものだったと言える。

#### TPP問題を通して十勝農業の課題を学ぶ

私たちは、農業が盛んであり、TPP問題への関心も高い十勝へ向かった。私たちが訪れた十勝総合振興局では、TPP参加における十勝経済への影響を、資料をもとにお話をしていただいた。十勝経済は農業を基盤に関連産業も発達しているため、TPP参加による影響は大きく、農業の衰退は即ち地域経済に壊滅的なダメージを与えるものになるということ学んだ。次に、日本銀行帯広事務所担当者を訪問し、TPP参加における影響への課題について話をしていただいた。課題の一つは、日本又は十勝農業の高品質、高付加価値を国際的にアピールし、輸出を促進するというものだった。

TPP加盟について十勝だけではなく全道民が身近な問題として意識を高め、課題を乗り越えることで北海道の農業を守らなければならないと実感した。TPP問題に関心の高い人から実際の生の声を聞き、現状や課題を学ぶことができ、とても貴重な地域研修となった。



榎 峻介

地域経済学科2年  
帯広大谷高校出身



菅原彩未

地域経済学科3年  
小樽潮陵高校出身

